



豊能町長
塩川 恒敏

誰もが輝くまち、
住み続けられるまち

＼とよの＼を共に

創造していきましよう！

新年明けましておめでとございませう。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を、ご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、町政にひとかたならぬご厚情を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年は、これまで経験のない「新型コロナウイルス感染症」が全国に拡大し、その対応に追われた年でありました。緊急事態宣言が発令された際には、外出自粛をはじめ、学校の休校・休園や公共施設の閉館などで、市民の皆様には、感染拡大防止に向け、深いご理解とご協力をいただきありがとうございました。

本町といたしましては、感染症対策を進めるうえで、皆さまへの影響を鑑み、水道基本料の免除や児童扶養手当受給世帯への臨時交付金など、更に、買い物補助券給付事業など、市民の皆さまと事業者への経

済対策を行ってまいりました。また、学校、公共施設での感染予防のため、様々な取り組みも行い、最も危惧されるクラスターの発生にはいたりませんでした。

皆さま、それぞれに徹底した感染予防を行っていただいたおかげであると感謝申し上げます。

未だ収束する気配もなく、感染拡大が続いておりますので、基本的なマスク、消毒換気を行い、3密を防ぐ感染予防の徹底をお願い申し上げます。

今後も、市民・事業者の皆さまが、健やかで活力ある生活の確保に向けた対策に取り組んでまいります。

さて、本町は、少子高齢化・人口減少が最大の課題であり、これにより歳入は毎年減少し続けています。この歳入に対し、社会保障の増加と共同事務事業や公共施設・インフラの維持管理費用などは増加しており、町財政は極めて深刻な状況にあります。

しかしながら、持続可能なまちの発展を行うためには、長期ビジョン見直しが必要で、新たに「総合まちづくり計画」を、学識経験者、住民の方に参画いただき策定中であります。

「教育改革」では、令和8年に東西それぞれに、9年間を通して育む小中一貫教育Ⅱ義務教育学校を開校します。地域と共

にある学校づくり（「コミュニティスクール」）を推し進める「学校運営協議会」設立準備委員会での活発な議論が始まっています。

魅力ある学校を、保護者の方、地域との連携により創ってまいります。

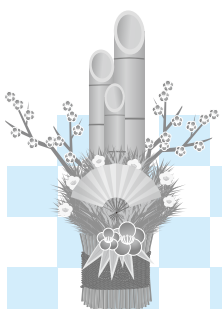
住みやすいまちづくりと誰もが活躍できるまちづくりを目指し、企業誘致や起業家育成、関係人口創出、恵まれた観光資源の更なる活用を図る活性化事業などで町の活性化に取り組みを強化してまいります。

本町といたしましては、子育てしやすいまち、すべての方が、安心して住み続けられ、地域と共に支え合えるまち、「誰もが輝くまち」とよの「」に向け、全力で取り組んでおりますが、その実現には、住民の皆さまの「協働」なくしては、実現できないと考えております。

より一層の町政へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして、幸多い実りのある一年となりますよう、祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年1月1日





豊能町議会議長

永谷 幸弘

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、豊能町議会へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

議長に就任させていただき、はや一年3カ月が経過いたしました。

新年を迎えるにあたり、豊能町発展のため、住民の皆さまのための議会となりますように、更に努力・精進してまいる決意を新たにいたしました。

さて、昨年は1月から新型コロナウイルス感染症が流行し、夏の「第2波」の感染拡大に続いて「第3波」の感染が拡大しています。

特に東京・大阪などで感染のスピードが増しており、政府は「大きな流行が来つつある」と最大限の警戒を呼び掛けています。

まずは対策の基本である、①マスクの着用②3蜜の回避③丁寧な手洗いを徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症により、全国

でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、入院中の皆さまには、心からお見舞いを申し上げます。

また、「令和2年7月豪雨」と命名された九州を中心とした大雨では、観測史上1位の記録が続出し、甚大な被害をもたらしました。

犠牲になられた方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた皆さまには、心からお見舞いを申し上げます。

本町においても、光風台(旧)目緑地の法面が崩落しました。幸いにも人的被害は発生しませんでした。あらためて住民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るための、防災対策の重要性を痛感したところです。

さて、本町の現状は、少子高齢化・人口減少に歯止めがかからない状況で、課題は山積です。

少子高齢化・人口減少に対応するための取り組みについては、『豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略』や、『豊能町総合まちづくり計画』の策定を進めているところです。

学校再配置問題につきましては、昨年の10月会議において、『東西両地区小中一貫校施設整備』に関わる基本・実施設計費用を盛り込んだ、令和2年豊能町一般会計補

正予算(第7回)が可決されました。

今後は、『施設のイメージ・費用・メリット・デメリット』などを具体的に提示するなど、丁寧な説明が求められます。

子供たちの教育的視点を優先的に考え、また地域にも配慮した前向きな協議を進めていけるように、議会としても行政や教育委員会と議論を進めてまいります。

現在、旧双葉保育所建屋内等に仮置きされているダイオキシン類を含む廃棄物の問題につきましては、二十数年前の問題が未だ解決できておりません。

この問題を解決するためには、住民の皆さまの寛大なご協力・ご理解を賜りたいと思います。

議会としても、一日も早く安全・安価に解決出来るように、最大限の協力をしてまいります。

今後も様々な市政の課題については議員間で議論し、行政へ提言できるように努めてまいります。

本年も引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和3年1月1日